

研究課題一般生活者集団を対象とした尿中殺虫剤代謝物のモニタリングに関する情報公開

1. 研究の対象

2017年10月1日～2018年9月30日に一般財団法人日本予防医学協会の附属診療所ウエルビーイング毛利、栄、南森町、博多にて健康診断を受け、研究参加の同意を得た方

2. 研究目的・方法・研究期間

目的：健康な成人を対象として、ピレスロイド系、有機リン系、およびネオニコチノイド系殺虫剤の代謝物を高感度にモニタリングし、日本人の成人における日常生活での殺虫剤曝露レベルを把握するとともに、疾患との関連も予備的に調査する。

方法：対象は一般健診を受診する成人約2400名である。健診用に提出されたスポット尿の残余を収集し、分離分析装置を用いて高感度に尿中代謝物を測定する。生活環境中での殺虫剤の使用などに関する質問票（添付資料1）への記入・回収し、殺虫剤の曝露が及ぼす健康影響に関する研究の基盤となる殺虫剤代謝物排泄量の基本特性を観察する。健康診断結果との関連を観察することで、予備的に曝露と影響の関連を調査する。

研究の意義：上記の方法により、測定値の基本的な特徴を把握し、日本における一般成人のいわゆる殺虫剤代謝物の基準値を作成の一助となる。これは日本における成人の殺虫剤曝露レベルの世界的な位置づけの参照になり、殺虫剤曝露と健康影響との関連を解明するための研究に必要不可欠なデータとして提供できる優れた研究である。

研究期間：実施承認日～2021年3月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

- ・健康診断目的で検査された尿の残余
- ・殺虫剤使用に関する質問表
- ・個人情報以外の健診結果

4. 外部への試料・情報の提供

健診機関にて、対象者リクルート、尿試料収集、質問表記入、健診に必要な個人情報管理を行い、まずは尿のみを名古屋大学で特殊分析し、その結果を健診機関で整理して、尿分析結果-質問表結果-健診結果とを連結させたのちに、連

結表が存在しない匿名化を行います。匿名化された情報は名古屋大学に送付され、名古屋大学にて統計解析を行います。

5. 研究組織

名古屋大学大学院医学系研究科医療技術学専攻・准教授・上山純
愛知医科大学・教授・柴田英治
一般財団法人日本予防医学協会・常務理事・澤律子

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でもあなたに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

愛知県名古屋市東区大幸南 1-1-20
名古屋大学医学部保健学科庶務掛
TEL：052-789-3939 FAX：052-789-5981

研究責任者：

名古屋大学大学院医学系研究科医療技術学専攻・准教授・上山純

研究代表者：

名古屋大学大学院医学系研究科医療技術学専攻・准教授・上山純